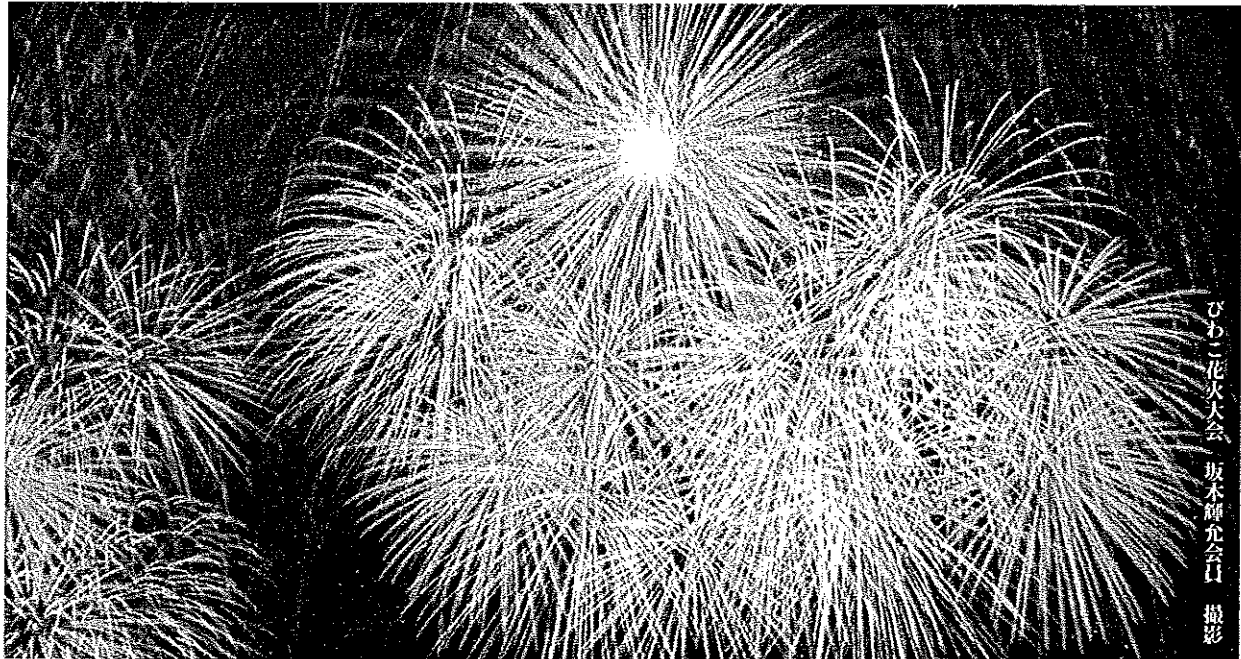




発行所 滋賀県行政書士会
 発行人 盛武 隆
 編集人 山添 稲子
 大津市京町三丁目4-22 (滋賀会館3階)
 発行日 (月刊)
 平成18年8月10日



ハウステンボスへの道

滋賀県行政書士会 会長 盛武 隆

今回は広報部注文のリラックス記事。日行連総会会場ハウステンボスへの、ジープ道中記です。

チガウがな

九州には三時間も早いというフェリー会社のPRに誘われて長崎までの旅は四国ルートと決めた。高松と土佐ルートあり。ところが間違えて遠回り。さらに調子に乗って有料道路の終点まで行って引き返すことに。そのためフェリーの出航時間に5分遅れて二時間待ち。フェリーは桂浜から別府まで二時間。時間的にも料金的にも山陽ルートが早くて安いとの結論。広告と違うやオマヘンか。

温泉とホテルとコンビニ

松山高速道には石鎚山温泉がある。名神多賀SAにはハイウェイホテルがある。お急ぎの旅でなければ高速道もゆったり旅が楽しめる。さらに最近は民営化の効果かサービスが充実。その筆頭はコンビニ、24時間営業。パン工場やホテルのレストラン部も進出、本格料理も楽しめる。ご当地土産など新しいビジネスモデルが生まれている。

アイドリングストップ

ホテルと言えば夜のSAは長距離便のドライバーズホテル。仮眠をとるトラックがエンジン回して運転席後ろのベッドで寝ている。夏休みには夫婦も子連れも寝ている。道の駅。

アイドリング・ストップ運動。でもSAではアイドリング天国。周辺地域は排ガス地獄。

翌日配達宅配便は深夜の高速を不眠不休で突っ走る。スピードリミッターも作用しないのかハイスピード。すれ違うたびにジープが横風に震える。

持ち込み禁止

SAのゴミ箱。満タンで溢れている。そこら中に「持ち込み禁止」の張り紙。でも観光バスやマイカーが着くたびにポリ袋のゴミを捨てる。いまや高速はゴミの最終処分場、ゴミの戦場と化し攻防戦が続いている。トイレも戦場。観光バスが着くと女性トイレがパンクして長蛇の列。やんごとなきオバ様は格差是正を宣いつつ男性トイレを侵略する。

WとMの悲劇

補修が追いつかない高速道。路面はタイヤでW字型に抉られている。ジープは車輪幅が狭いので、どちらかの溝に片足とられてヨロメキ走行となる。

補修された高速道は逆M状態。かさ上げ舗装のアスファルトが中央で盛り上がり蒲鉾型。路面が高くなった反面、ガードレールの高さはそのままなので、大型トラックなどはガードレールを乗り越えて対向車線に飛び込む事故多し。ガードレールも嵩上げしなければ。